

2023年度 現代文 シラバス

科目名	現代文A		教科名	国語	
学年	3年	単位数	2単位	担当者氏名	

1. 科目「現代文」について

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 1. 2年の学習を引き継ぎ、高等学校の国語の学力を確実に身につけさせる。 目的に応じた的確に読み取る力を養う。
使用教科書	「新編 現代文A」(第一学習社)

・副教材：意味から学ぶ常用漢字 (第一学習社)

2. 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・技能	知識・理解
各テーマ毎の背景知識に関心を持ち、文章読解能力の向上に意欲的に取り組むことが出来る。	評論文のキーワードや文章区切りを把握する力を身に付けている。	文章読解のための漢字力・語彙力など基礎的な知識を身に付けている。
具体例 出席状況、提出物、平常の学習活動、学習態度、ノートのできばえ等。	ペーパーテスト 発表内容	ペーパーテスト 発表内容

3. 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内容	判定基準	得点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。

※評価簿の作成を行う。(例：観点別評価簿及び実際評価簿については別紙)

4. 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

学期	月	時間	学習内容	学習内容・(評価の観点)及び留意点	関心意欲態度	読む能力	知識理解
1	4	1 5	ガイダンス 新しい地球観	<ul style="list-style-type: none"> 扱われている問題を自身に引き寄せ自らの視野を広げる。 様々な地図が形作る「世界の見方」について考える。 	○ ○	○ ○	○ ○
		2 4	新しい地球観 意味から学ぶ常用漢字 調律師のるみ子さん	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に必要な語彙力を高める。 文字を丁寧に記入させる。 作品の構成、人物像や舞台せついへの把握、作中で用いられる小道具の効果など細部に注目することの重要性を意識させる 	○ ○	○ ○	○ ○

2	6	2 4	調律師のみ子さん 犬も歩けば棒に当たる	・それぞれの具体例の関係と、そこから抽象される筆者の主張の関係を捉えさせる。 ・故事来歴について、関心を抱く。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	7	6	意見文の書き方	・人間・社会に対する本人の考えを、文章にし、弁論大会に向けての構成を考える。 ・自己の思考を深め、自分の意見をまとめる。	○		○
	9	8	ひよこの眼	・登場人物達のどこに共感し、何に違和感を覚えるのかを深く考えさせ、他社との関わり方、自己発見へと生徒自らの思索の手助けとなるようにする。	○	○	○
	10	2 4	意味から学ぶ常用漢字 教え方で磨く日本語	・同音異義や間違えやすい漢字について学ぶ。 ・丁寧な字を心がける。 ・身近であるがゆえに気づきにくい言葉の役割や性質を理解させる。	○ ○		○ ○
	11	4 2	教え方で磨く日本語 意味から学ぶ常用漢字	・文章の論理構造と特徴を正しく読み解かせ、評論的文章を読解する力をつけさせる ・丁寧な字を心がける。	○ ○	○	○ ○
	12	6	卒業	・読解を通じて、働くことや大人になることについて問いかけ、将来の展望について考えさせる。	○	○	○
3	1	4	卒業	・「消防士」としての仕事と、友人への思いとが関わりながら、変化していくことを確認させる。	○	○	○
	2	4	保護者への手紙・担任への手紙・	・卒業前の心境をつづる。「学問」「人生」「青春」という視点に基づいて、書いてみるよう、手助けする。	○		○

評価方法	定期考査+豆テスト+ノート提出+音読・プリントなど。 ただし規定の授業時数に達しない生徒は評価保留。
------	---